

安全上のご注意 必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

□図記号の説明

△警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

△注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

□表示の説明

○ してはいけない「禁止」内容です。

! 必ず実行していただく内容です。

△警告

○ 禁止	●本製品は防水仕様ではないため、風呂場など、水気の多い場所で使用しない。 火災・感電・故障の原因となります。
○ 分解禁止	●絶対に分解、改造、修理はしない。 故障・発火・感電・けがの原因となります。
! 守る	●幼児の手の届かないところに保管する。

△注意

○ 禁止	●熱器具や火気のそばで使用しない。 本体が変形し、火災、感電、故障の原因となります。
! 守る	●お子様がご使用になる場合はお子様がいたずらをしたり、他人に危害を及ぼさないように十分に指導する。

電池を安全にお使いいただくために

電池の使い方を誤ると電池が液もれをおこし、発熱や破裂したり、けがや各機器の故障の原因となるので以下を必ず守ってください。

- 電池の液が目に入ったときは失明などのおそれがあるので、すぐに大量の水道水などのきれいな水で洗い流した後、直ちに医師の治療を受ける。
- 機器の指示に従って、 \oplus と \ominus を正しく入れる。
- 電池は充電しない。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、機器から取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したり、火に入れたりしない。

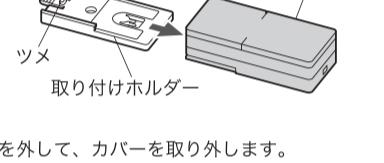
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置く。誤って飲み込んだ場合は、すぐ医師へ相談する。
- 電池の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐに大量の水道水などで洗い流す。
- 落させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 電池を廃棄する場合、自治体の条例などの定めがあるときは、その指示に従う。
- 電池を保管や廃棄する場合は、他の電池や金属製のものと接触しないようにテープなどで端子部を絶縁する。

1. 電池の入れ方

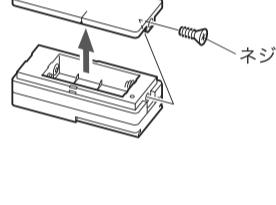
電池交換の際も同様の手順で行います。※呼び出し音が小さくなったり、動作が不安定になってきたら早めの電池交換をお勧めします。

音センサー送信機

①タブを押しながら音センサー送信機を引き抜きます。



②ネジを外して、カバーを取り外します。



③図のように単4形アルカリ乾電池を $\oplus\ominus$ 正しくセットします。

④カバーを元通りに取り付けます。



■電池交換お知らせ機能

- ・音センサー送信機は電池切れが近づくと、ランプが点滅(赤色)します。

受信機

①電池カバーをスライドさせて、取り外します。

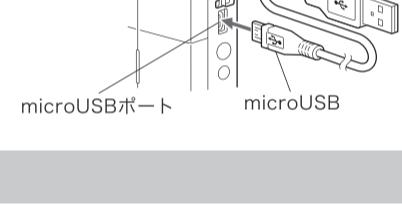
②図のように単3形アルカリ乾電池を $\oplus\ominus$ 正しくセットします。

③電池カバーを元通りに取り付けます。

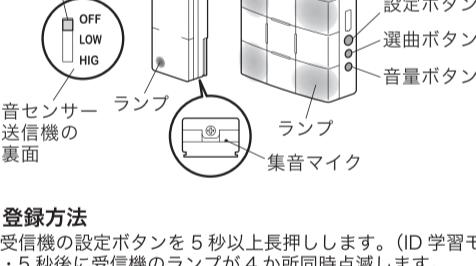


■microUSBケーブル(市販)の使い方

- ・受信機のカバーを開けて、microUSBを接続します。
- ※microUSB使用時は、必ず受信機の乾電池3本を取り外してください。
- ※市販の5V USBアダプターが必要です。



2. 送信機の登録方法



■登録方法

①受信機の設定ボタンを5秒以上長押しします。(ID学習モードスタート)

- ・5秒後に受信機のランプが4か所同時点滅します。

※約1分以内に手順②と③の操作をしてください。

②受信機の選曲ボタンを押して、呼び出し音を設定します。

- ・選曲ボタンを押すごとに呼び出し音が切り替わります。

・最後に鳴らした呼び出し音で設定されます。

呼び出し音
1 チャイム音(キンコーン×2)
2 チャイム音(キンコン カンコーン×2)
3 ノック音
4 チャイム音(ピンポーン×2)
5 チャイム音(ピンポン×2)
6 鳩時計の音
7 鐘の音
8 チャイム音(ピンポン パンポーン×2)

③登録する送信機側以下のお操作をします。送信機の種類により操作方法が異なります。

- ・押しボタン送信機 呼び出しボタンを押す
- ・人感センサー送信機 スイッチをONにする
- ・音センサー送信機 スイッチをLOW/HIGにする
- ・扉センサー送信機 マグネットを離す

※音センサー送信機：使用環境に合わせて感度レベルを調整してください。

- ・受信機が反応しないときは、スイッチをHIGにして感度レベルを上げてください。
- ・受信機が反応しすぎるとときは、スイッチをLOWにして感度レベルを下げてください。

④「ID学習モードスタート」から約1分後に受信機のランプが

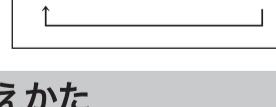
4か所同時点滅します。(登録完了)

3. 音量の設定

受信機の音量ボタンを押すごとに音量が切り替わります。

- ・最後に鳴らした音量で設定されます。

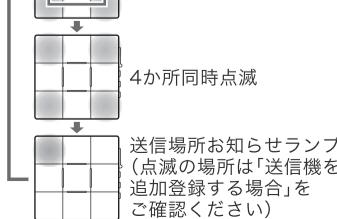
・登録されている送信機の個別の設定はできません。



4. フラッシュパターンの切り替えかた

受信機の設定ボタンを押すごとにフラッシュパターンが切り替わります。

- ・最後に光らせたフラッシュパターンで設定されます。



5. 設置方法

音センサー送信機

■両面テープ(付属)で壁に取り付ける場合

- 貼り付ける部分の水分、ほこりや汚れなどをきれいに拭き取ります。
- 両面テープで取り付けホルダーを壁に貼り付けます。
- 音センサー送信機をカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。

■取り付けネジ(付属)で壁に取り付ける場合

- 取り付ける壁に取り付けネジを固定します。
- 取り付けホルダーの取り付け穴を引っ掛け、取り付けネジで固定します。
- 音センサー送信機をカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。

■粘着フックシングル(別売)で壁に取り付ける場合

- 貼り付ける部分の水分、ほこりや汚れなどをきれいに拭き取ります。
- 粘着フックシングルのネジを時計回りに手で止まるまで回します。
- 粘着フックシングルを壁に貼り付けます。
※粘着フックシングルの突起部を下に向けてください。
- 受信機の取り付け穴を引っ掛けます。

■取り付けネジ(付属)で壁に取り付ける場合

- 取り付ける壁に取り付けネジを固定します。
- 受信機の取り付け穴を引っ掛けます。

■その他の使いかた

- ・机に置くなど、お好きな場所に置いてお使いいただけます。
- ・ストラップ(市販)を取り付けて、使用することもできます。